

L'aile d'Howl

【ライル・ドウル・ホウルの翼(伝説)】

2010年5・6月合併号



3月の全国高校選抜大会から早2ヶ月！
高校生たちがまた輝く場所に戻って来た！

県高校総合体育大会特集！

1

県高校総体！君の熱い気持ちをぶつけろ！

6月4～6日の3日間、高校生の正念場である県高校総体が開催されました。年々出場チームが減っている現状もある中、合同チームを作って出場する高校もあり、開会式に並ぶ生徒たちからは早くもハンドボールに対する熱意が感じられました。選手代表で宣誓を務めたのは花巻農業高キャプテンの奥寺翔太選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)。気合のこもった宣誓で決戦の火蓋が切られました。

今大会は接戦となる試合が非常に多く、延長戦までもつれ込んだゲームが3つもありました。そのうち2ゲームは地元花巻北高校が盛り上げてくれました！まず女子は準々決勝、ベスト4入りをかけて望んだ盛岡二高との戦い。花巻北高はエースの川村いぶき選手(花巻クラブジュニアOG)が得意のステップシュートとロングシュートを織り交ぜながら得点を重ねます。盛岡二高もディフェンスから速攻の形をうまく作り、取られては取り返す展開が続きます。



花巻北が前半をリードして折り返した後半、盛岡二高はエース川村選手に徹底的なマンツーマンディフェンスを仕掛けます。川村選手もディフェンスを振り切りながら時折シュートを決めますが、明らかに得点ペースが落ちたところを盛岡二高がついに逆転。万事休すと思われたところを後半最後の攻撃で追いつき、延長に突入します。このまま勢いに乗りたかった花巻北ですが、延長に入っても川村選手へのマークの手を緩めなかった盛岡二高が一步抜け出し、伝統校の意地を見せて勝利しました。得点時にチーム

全員で喜びを表現する花巻北高の戦いぶりがとても素晴らしかったです。

一方の男子は準々決勝で盛岡南高と対戦。チーム力で戦う花巻北、個人の身体能力で勝る盛岡南。それぞれのチームカラーを出して臨んだ試合は同点で延長にもつれ込みます。延長戦後半、同点で仕掛けた最後の攻撃で、花巻北高キャプテン紺野龍磨選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)がポストから絶妙な

ループシュートを放ちます。試合終了のブザーと同時に放たれた「ブザービーター」は見事ゴールに入り、審判の得点の笛が鳴ると会場が大きな歓声に包まれました。熱い戦いをありがとう、花巻北高男女！



←健闘した花巻北高3年生の皆さん

決勝に先立ち、今夏ハンガリーで開催される世界女子学生選手権に出場する町屋なつみ選手(不来方高→富士大)から代表選出の挨拶がありました。東北ブロックで唯一選ばれたこともあり、「岩手県及び東北の代表として全力を尽くす」との頼もしい決意表明でした。この選手団には、同じく不来方高校出身の吉田起子選手(東女体大3年)も選ばれており、岩手県出身選手たちの活躍が大いに期待されます。



女子決勝の舞台に立ったのは不来方高校そして盛岡二高。昨年同様の顔合わせとなり、昨年の雪辱を果たしたい盛岡二高は、会場を埋め尽くすほどの全校応援を受けて女王不来方高校を迎え撃ちます。対する不来方高校は、ぎりぎりのメンバーで戦っていた高校選抜大会時とは一転、怪我のため万全でなかった佐藤佳代子キャプテンを温存する余裕もできるほど、昨年のJOC主力選手を新1年生として多数迎え、久々にフルベンチでの決勝となりました。



その不来方高校は、エースポジションに入った藤原千寛選手(花巻クラブジュニア→花巻中)のシュートが炸裂。序盤から試合を有利に進めます。ポストの佐々木明日香選手(花巻クラブジュニア→花巻中)はディフェンスでも要となるセンターバックを務め、1年生とは思えない活躍でチームを引っ張ります。対する盛岡二高も谷藤詩音選手のミドルシュートや得意の速攻で点差をつめようと試みます。不来方高は佐藤キャプテンが怪我を押して途中出場。3年生として、エースの大山選手とともにチームを引っ張り、二高のリードを許しません。最後は大山選手のシュートなどで引き離れた不来方高校が、25vs20の勝利で連覇を達成しました。



男子決勝は、3月の全国高校選抜大会に出場した2校の対決。準決勝で花巻北高を破り波に乗る盛岡一高は、全国大会3位の不来方高校に一矢報いたいところ。盛岡一高はエース大津恭平選手のミドルシュートなどで序盤ペースをつかみます。



ポスト村田知紀選手を怪我で欠く不来方高校ですが、全国頂点を目指すチームは選手層の厚さも十分。キャプテン森田啓亮選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)を中心に守備を固め、高い中央のディフェンスからGK佐々木亮輔選手がシュートを止め、サイド佐々木翔汰選手が速攻で決めるパターンが続きました。

JOC 有望選手の齋藤 凌選手(花巻クラブジュニア→花巻北中)も早くも高総体決勝の舞台を経験しました。盛岡一高は後半も粘り強く戦いますが、対する不来方高は控えメンバーを出す余裕の展開。王者の貫禄を見せ、終わってみれば 38vs26 で不来方高校がインターハイへの切符を手に入れました。



今回優勝を手にした男女・不来方高は 8 月初旬に行われる沖縄インターハイへ出場します。なお、盛岡一高、盛岡二高を含む男女上位 2 校は、6 月 25 日から青森県で開催される東北高校総体へ出場します。岩手県代表として、そして男子・不来方高はこれまでの厚い壁を破り、全国大会決勝進出、そして全国の頂点目指して頑張してほしいと思います。

なお、今回引退となる 3 年生の皆さん、本当にお疲れ様でした！ハンドボールを通じて培った体力、精神力、そして仲間との友情を糧に、また今後の進路に向けて頑張ってくださいと思います。



↑ 森田啓亮選手(花巻クラブジュニア→花巻北中： U-18 日本代表)

←とても仲の良い花巻南高女子ハンド部の皆さん 3 年生お疲れ様でした☆

今月の顔:

今回の高総体で特別敢闘賞に輝いた川村いぶきさん(花巻北高キャプテン)。花巻クラブジュニアの卒団生です。中学校ではハンドボールができない環境でしたが、高校生になってからは実父の川村俊彦先生のもと、エースそしてキャプテンとしてチームを引っ張ってきました。2 年生時には国体少年女子代表にも選出。3 月の全国高校選抜大会では大会スローガンを考案し、裏方としても一生懸命活動しました。試合は悔し涙で終わったけれど、一生懸命プレーした彼女は最高の仲間と頑張りの証となるメダルを手にして最後の高総体を終わりました。本当にお疲れ様、そして感動をありがとう！

